仰星学園高等学校

【学校ホームページアドレス】 https://gyoseigakuen.ne.jp

是便则

令和7年 3月24日

No. 3 9

「 クライマックス①~バスハイク編~ 」





だゆっくり眠っているのに、そこだけが輝きを放ち、淡 い桃色に浮かび上がります。森の妖精とも言われる「山 桜」。控えめで、素朴な中にも気品ある「山桜」は、私 たちの目をとらえて放しません。また、日本人がこよな く愛してきた「ソメイヨシノ」は、山の木々にそっと語 りかけてきます。「もう春だよ。山の木々よ、目を覚ま しなさい。」その声が、ずいぶん温かくなった春風に乗 り、山の隅々にまで広がっていきます。 桜は、日本の四季の始まりを予感させます。しかし、

山裾が突然、清澄な空気に包まれます。山の木々はま

この時期、桜の持つ神秘的な風景に、四季全体のクライマックスを 迎えたような錯覚を覚えます。

卒業式から2週間が過ぎました。卒業生の皆さんは、それぞれ自 分の道を、しつかりと歩み始めました。しかし校舎には、卒業式の 余韻がまだ残っています。卒業式は、卒業生の皆さんはもちろんの こと、三年間手塩にかけてきた先生方、18年間育ててこられた保 護者の皆様にとって、ひとつの節目であり、「クライマックス」で





在校生代表の送辞。「先輩方 は私たちに、行事を通して楽し むだけではなく、共に努力し、 支え合うことの大切さを教えて くださいました。どんな状況に も前向きに取り組み、常に周り に気配りを欠かさない姿勢は、

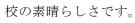
私たちにとって大きな学びとなり、これからもずっと心に残り続 けるでしょう。先輩方がいなくなることを考えると、とても寂しい気持

ちになります。しかし、先輩方が築いてくださった伝統を受け継ぎ、私 たちも成長していかなかければなりません。来年度からは、私たちが先



頭に立ち、学校をひっぱっていく番です。先 輩方の背中を目標に、精いっぱい努力してま いります。」と決意を述べた在校生代表の言葉

一つ一つに、卒業生の皆さんと在校生の皆 さんの関わりが、どんなに深かったのかを 知りました。この上級生と下級生との連帯 感の強さが、どこの学校にも負けない、本



卒業生代表生徒会長





梅満開の太宰府天満宮





の答辞。まず仲間や在校生の皆さんと一緒に取り組んできた三年間の 思い出を語ってくれました。そして時間が止まったかように、クライ マックスを迎えました。彼女は、書面からゆっくりと顔を上げ、そし て決意し、次のように締めくくりました。





「私たちが学習面だけではなく精神面でも大きく成長することができたのは先生方のおかげです。常に支えてくださった担任の先生。本当にありがとうございました。友人とのたわいのない話や教室から聞こえる笑い声。そういった日常が今でも忘れることができない大切な思い出です。今まで楽しく学校生活を送ることができたのも友だちのおかげです。本当にありがとう。そして今日、卒業の日を迎えることができるのも家族の支えがあったからです。十八年間、温かな目で見守っていただきありがとうございました。今日で、私たちはこの仰星学園高等学校を卒業し、それぞれが自分の夢に向かって、その第一歩を踏み出します。」そう語ってくれました。【次号に続く】

































